



# さくら

## 2026春

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 92 号

〒420-0962  
静岡市葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

### 春満喫のお花見散歩！



今年も麻機園の前庭に春がやってきました。  
昨年は入所者がベランダから桜を眺めお花見をしました。今年は庭からさらに一步外へ！ぽかぽかと暖かな散歩日和にみんなで元気に「お花見散歩」へ出かけました。

満開の花の下、菓子と温かいお汁粉を味わいながらゆっくりと桜を眺め楽しみました。

「外で食べると美味しいね」といつも以上に会話が弾み、用意した食べ物もあっという間に食べてしまい、まさに「花より団子」、心もお腹も満たされる花見になりました。来年も麻機園に桜が咲くのを楽しみにしています。

麻機園寮母 高久 愛

### 迫力満点！女声コーラスがやってきた！



コロナの影響でご家族との面会や訪問の制限がありましたが、麻機園では1月下旬に6年ぶりに訪問者を迎え『女声コーラス コスモス』の皆様の歌声を披露していただきました。

さくらの広場にあるピアノの伴奏に合わせて息のあった歌声を披露してくださいました。生の演奏と歌声はともにも迫力満点！入所者の皆様職員ともに瞬く間に歌の世界に引き込まれました。

配られた歌詞カードを一生懸命に追いつながら入所者の皆様も歌い、始めは照れくさそうにしている様子でもコーラスの迫力に背中を押されるように、コーラスに合わせて大きな声で歌いました。中には涙を流す方や、楽しそうに手拍子を打つ方等、歌詞カードを目で追いつながら歌う皆様の表情は普段以上に生き生きとして見えました。

素敵な時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、これからもこうした地域の方々との繋がりを大切に、笑顔で過ごせる毎日と一緒に作っていききたいと思います。

麻機園寮母 小泉富三郎

### 開園記念日のお祝い膳

4月1日、麻機園は38回目の開園記念日を迎えることができました。アトラクションの催しを企画していましたが、風邪の流行があり延期することになりました。イベントは先延ばしになりましたが、恒例のお食事会は予定通り、厨房が腕を振ったお祝い膳を提供させていただきました。桜の花を模ったおこわに寿の文字が入った練り物、かき揚げ天ぷら、豪華な料理に箸が進みました。

延期になったイベントは5月に開催が決定！内容はなんと…職員による真剣勝負「負けたら着る！逆野球拳」です。普通の野球拳とは違って、じゃんけんに負けるたびに服をどんどん着込んでいくという、オリジナルのルールです。さらに、負けが込むと顔に「墨」を塗られてしまうという噂も…

職員が必死にじゃんけんをして、どんどんモコモコに着膨れていったり、顔が真っ黒になっていく姿を入所者の皆様に楽しんでいただこうと思います。皆様、楽しみにお待ちください。

麻機園寮母 牧野晴美



# デイサービス通信 ～我らの人生これからだ～

ソメイヨシノの開花を楽しみに、デイサービスでは曜日毎に外出や園庭での昼食会を計画していましたが、あいにくの強風や雨の為ほとんどの計画が中止になってしまいました。そのような中でも晴れの日を待ち、4月2日にお花見ドライブに出かけてきました。向かう途中の鯨ヶ池付近の桜や釣りをする方を見て「子どもの頃この池で泳がせてもらったんだよ。」と思い出話を聞かせて下さる方や、「こちら辺はもう福田ヶ谷だっけ？ここは何学区？」など周りの景色を見ながら会話を楽しまれる方もいらっしゃいました。松富スポーツ公園には何十本もの桜の木が並んでいて、頭に桜が当たる程間近に桜を見ることができました。久しぶりの晴れ間に満開の桜で気分も晴れやかになり、「我らの人生これからだから、来年もまたみんなで見に来よう。」と言って桜も心もピンクの花見になりました。



デイサービスセンター職員 齋藤夕加里

## ケアハウス桜花



さわやかな春風とともに、ケアハウス桜花は4月1日に開園記念日を迎えました。この日を祝して、ボランティアの皆様による華やかな催しを開催しました。始めに「なかよし会」の皆様にご披露いただき、優雅な舞に会場は一気に華やいだ空気に包まれ、続く「サンサンコーラス」の皆様には心に響く合唱を届けていただき、美しい歌声が響き渡りました。



後半には入居者の皆様も参加しての紅白のバトンを使ったリズム体操！ズンドコ節にあわせてサンサンコーラスの方々と一緒に体を動かし、会場一体となって盛り上がりました。入居者の皆様からは「元気がもらえた」「また見たいね」と喜びの声があふれ、心温まる記念日となりました。

ケアハウス桜花生活相談員 望月昭子

## 介護サービスの質の向上を目指して！ part 2

2025年夏号にて麻機園で導入している介護ロボットやICT等のテクノロジーについて紹介しましたが、令和7年度に国の補助金を利用し新たな機器を導入しましたので紹介いたします。

これらの機器を選定するにあたり、様々な機器のトライアルを繰り返し決定しました。

日本の少子高齢化は進み、2035年には人口の3人に1人が高齢者になると推計されています。その影響による介護サービスへの需要は急増すると言われていた一方で、利用者やその家族の安心・安全に対する要望や介護業界の人手不足・介護職員の負担増加などの課題が顕在化してきました。

麻機園ではそんな問題を少しでも解決したく機器の導入を進めています。

### ① みまもりベッドセンサーシステム (リコーみまもりベッドセンサーシステム)

既存のベッドに簡単に設置できるセンサー。このセンサーを使用して、ベッド上の入所者の状態（位置、姿勢、体動など）をモニタリングすることにより、1日を通して生活リズムを把握することができ、ナースコールやパソコンのモニター画面に表示すると共に、介護記録システムと連携して自動的に記録を作成する等して、夜間などの介護職員が少ない時間帯にも入所者の状態を効率よく見守り記録することが可能になりました。介護職員の事務的な業務の負担を軽減し、迅速で適切な利用者への介護に役立つことが期待されます。

### ② インターコミュニケーションズシステム (クリアトークカム)

職員間の連絡機器として簡易トランシーバを既に導入していましたが、会話するたびに機器を手で操作する必要があり、利用者の介助の最中などには対応しづらいことがありました。この度導入したインカムは、ヘッドセットによりマイクロホンと骨伝導イヤホンが一体となっている為、ワンタッチで会話できると共に、よりクリアな受信音になり、手が離せない状況でもすぐに情報伝達が可能になりました。また、ナースコールと連動してベッドセンサーシステムのナースコール着信を受け取ることが可能になる等入所者へ提供する介護サービスの質の向上を実現することに繋がります。

機能訓練指導員 藤浪 亮